科目名	授業形態	担当教員名		
情報処理工学	講義	阪本 壮志		
時間数(単位数)	授業回数	年次	開講時期	
60 時間 (2 単位)	30 回	1 年次	後期	

授業の目的・概要

我々の生活に欠かせないパーソナルコンピュータ(PC)をはじめとするIT技術を医療に用いるための情報処理の基 礎について講義する。

授業の到達目標

工学系のスペシャリストとして、臨床の現場で様々な医療機器の操作・管理・データ収集を行うために必要な工

学的	か識と技	技術を身に	こつけ、医療に用いられているIT技行	析を3	理解し、活用できるよう	になるこ	とを目指す。
授業	計画						
□	内容						
1	ディジタルデータの表し方		16	- 1.0° h)z BB 2 7 75 75			
2	2 ディジタルデータの表現			17	コンピュータに関する演習		
3	3 ディジタルデータに関する演習			18	システム構成、演習		
4				19	信号の伝送		
5	5 論理回路			20	―信号の伝送に関する演習		
6	6			21			
7				22	2 ネットワーク(1)LANとWAN		
8	信号処理	里(1) AD図	· 连换	23	ネットワーク(2)インターネット接続		
9	9 信号処理(2) 雑音除去、周波数解析			24	ネットワーク(3)通信プロトコル		
10	10 信号処理に関する演習 11			25	- ネットワークに関する演習		
11				26			
12	2 コンピュータ(ハードウェア)(1)基本構成			27	ネットワークセキュリティ(1)コンピュータウイルス		
13	13 コンピュータ(ハードウェア)(2)記憶装置			28	ネットワークセキュリティ(2)情報漏洩対策		
14	14 コンピュータ(ソフトウェア)(1)0S			29	− ネットワークセキュリティに関する演習		
15	15 コンピュータ(ソフトウェア)(2)プログラミング言語			30			
成績	の評価方	法と基準	į.				
	種別	割合	評価基準・その他備考				
筆	記試験	70%					
レポ	ート・課題	10%	各単元終了毎に課題を出し、提出し	した場	場合に内容により評価す	-る。	
小	小テスト 20% 毎週の講義開始時に実施する。						
<u> </u>	平常点						
ز	その他						
	由記載						
教科							
	書名				著者・編集者名		版社名
臨床	:工学講座	医用情	青報処理工学 第2版		戸畑裕志	医	歯薬出版

自由記載

		-	
矣	ܫ	ᢐ	盐
400			

書名	著者・編集者名	出版社名

自由記載

備考